

アンヘラス大学と学術連携協定を締結し災害医学の講義をしました。(2014/10/24-25)

場所：アンヘラス大学（フィリピン）
テーマ：「Disaster Management」

10月24日、25日（金、土）にアンヘラス大学大学院において、災害科学国際研究所とアンヘラス大学との部局間学術協定の調印式が行われ、今村文彦研究所長（代理：江川新一教授）、Dr. Joseph Emmanuel L. Angeles 総長（代理：Archimedes David 教授）との間で協定が交わされました。アンヘラス大学は1991年に今世紀最大の爆発を起こしたピナツボ火山から約20km離れたアンヘラス市に位置し、ルソン島中央部の中心的な大学です。ピナツボ火山は噴火のピークを予測して効果的な避難誘導を行うことができたことでも知られています。しかし、周辺地域では火砕流と火山灰に加え、火山堆積物に雨水がしみこんで流動化する火山泥流が発生して、田畑、集落、街を埋没させ、数千戸の家屋が倒壊するなど被害者総数120万人に達する多大な被害を出しました。23年経過した現在においても、住居移転を余儀なくされた被災者の移転定住地区を多数抱えており、アンヘラス大学は災害に対する意識が高い大学です。

アンヘラス大学の協力により、再定住地区のバランガイヘルスセンター(BHC)の Dr. Leny Santos を訪問し、被災直後の状況と、23年経過した現在までの間に再定住地区において、最も問題となった健康被害について伺う機会を得ました。噴火は今世紀災害の爆発とされているように、瞬く間に噴煙が空中高くにキノコ雲となり、あっという間に太陽が隠れたそうです。最初は非常に細かい灰が飛来し、つぎに砂状、砂粒、砂礫という順序で、家屋、樹木、土地が覆われ、同時に水分も含んでいたため、泥状になったそうです。再定住区域は、災害直後に政府により決まった敷地面積と建坪の家が支給され、自分で居住先を見つけることができた場合は、支給された家と土地を財産として売ることができたそうです。また、多くの住民がピナツボ山に近い高地で農耕をしていた人々であったため、再定住地区では農耕を継続することができず、多くの住民が生計を立てるのに苦労し、そのまま再定住地区に住み続けている人も多くいます。健康問題としては、大規模災害によくある込み合った避難所などで、感染症の流行や、ハラスメントなどがあったとのこと。メンタルヘルスに関しては、気遣う余裕がなかったのが正直なところのようです。また貧困から風俗産業に身を投ずることも多く、性感染症は現在でも大きな問題となっています。訪問した BHC は、噴火以前は地域の病院でしたが、噴火後、分娩と乳幼児医療、予防接種を行うプライマリーヘルスケアを担っています。防災教育、妊産婦に対する災害時の対応、日本の災害医療対応について大きな興味を示していただきました。

江川教授は、アンヘラス大学大学院において災害医療について第1回目の講義を行いました。アンサーパッドを用いた双方向性の授業をアンヘラス大学としても初めて行い、約50名の看護師、医師、市役所職員、災害対応関係者からなる聴衆に強い興味を持って授業に参画してもらうことができました。アイスブレイキングののち、東日本大震災に対するわが国の災害医療の備えと教訓、教育のプロセス、ヒューマンセキュリティの考え方、災害に関する用語の解説、世界防災会議とさらに未来に向けての展望について約3時間の講義と質疑応答を行いました。授業の評価も即座に判明するため、大変高い評価を得ることができました。学校の防災教育はどうしているのか、軍との関係はどうあるべきか、エボラ感染症のような生物ハザードにはどう対応するのかなどの質問がありました。第2回目は、12月6日に台風ハイエンの被害とフィリピン国内の対応、放射線・核災害に対する対応、病院の事業継続性計画などについての講義が行われます。



割と広い道路で区切られた再定住地区には小学校、中学校、商店などがあり、噴火から 23 年経過して人々は落ち着いて暮らしている。



典型的な政府から支給された大きさの一軒家。この地区を離れるときには財産として売ることができる。



再定住地域の分娩を担う BHC
分娩と乳幼児の健康診断、予防接種などは重要な地域保健の核となっている



インタビューに応じてくれた Dr. Leny Santos（左端）、Dr. Carmera Dizon（右端）



協定書を交わす江川教授と David 副学長
左は Kawano 教授、右は Dizon 公衆衛生大学
院研究科長



アンサーパッドを用いながらなごやかに授業を進める風景。最後部席にはフィリピンの徴兵制により軍服をきた学生の姿もあった。

文責：江川新一（災害医学研究部門）